

# 人や文化と触れ合う豪州への旅

## 町中高生徒海外派遣事業で十八人の生徒を派遣

町中高校国際理解教育推進委員会と町教委が主催し、七月二十七日から八月二日にかけて、町内の中高生徒十八人を含む二十一人の訪問団（团长／横山秀人厚真中教頭）をオーストラリアに派遣しました。派遣にあたり、二回の合同説明会と四回の事前研修で、生徒たちは英会話、文化などを学び、それぞれテーマを持ち準備万端<sup>ばんたん</sup>で出発。学校訪問では、現地の生徒と一緒に授業を受けたり、スポーツ交流、事前研修で練習したよさこい踊りを披露しました。また、二泊三日のホームステイで生活習慣や文化を肌で感じてきました。横山团长は「生徒たちは、現地の人たちに積極的に話しかけ交流を深めるなど充実した研修を送っていた。体験の素晴らしさ、大切さを実感した」とオーストラリアでの生徒たちの様子を話していました。



学校訪問で交流する生徒たち（左下）とよさこい踊りを披露

## 心豊かでたくましい子に 本町でPTA研究大会

町PTA連合会（長門茂明会長）などが主催し8月27日、第8回胆振東部PTA連合会研究大会が町総合福祉センターなどで行われ、約320人が集まり健やかな子どもの成長を目指すPTA活動について意見を交わしました。

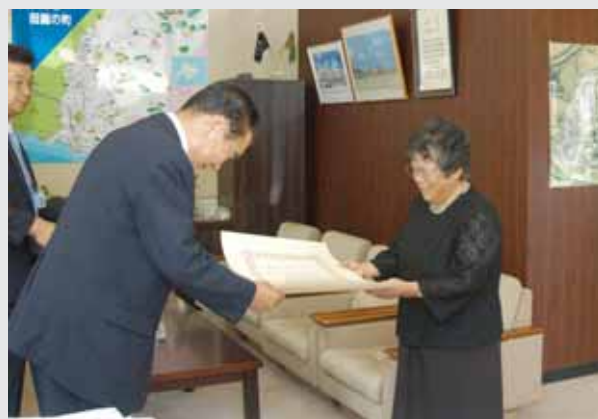
大会主題は「厚い真心の町で学び合おう、心豊かにたくましく生きる子のために」。地域とPTA、学校と家庭の連携など5テーマを設定し、町P連などから5人が提言。また、多数の運営協力者、裏方の皆さんの協力により所期の目的を達成し終了しました。

三百人以上が集まった研究大会（中央）



右上から時計回りに、町P連会長の長門茂明さん、提言した畑嶋賢蔵さん（中央小P）、小林美由紀さん（厚南中T）、林美智子さん（町給食センター）、中島広幸さん（富野小P）、河村敏弘さん（軽舞小P）

町長から勲記を伝達される妻の八重子さん



## 故松田和夫さん（豊丘）に 瑞宝単光章が授与される

今年6月に亡くなられた元町民生・児童委員、松田和夫さん（豊丘）が瑞宝単光章の特別叙勲を受け、8月7日、役場町長室で藤原町長から妻の八重子さんに勲記と勲章が伝達されました。

松田さんは、昭和46年から30年間にわたり民生・児童委員として地域住民の生活安定と福祉の向上に尽力。昭和58年から23年余にわたり保護司<sup>ぼんし</sup>として罪を犯した青少年などの更正を手助けするため奔走するなど民生の安定に貢献、また、多くの公職を歴任されていました。

